

心の輪12R



『雨の日の届け物』という資料を通して、
「友情」について考えました！



友達とは、信頼できる、一緒にいて楽しめるパートナー、仲間みたいなものだと思います。友だをなくしたら、お願いだってできない。遊ぶこともできない。独りぼっちになってしまう。だから、友達という一生のパートナーをずーっと大事にしていけないといけないと思いました。

たまにケンカすることが私もあったけど、友達は普通に話しかけてくるから「何でだろう」と思っていたけど、今日の授業を聞いて、友達もきっとひとみと同じ気持ちだったのかなと思いました。

私が思う友達とは、やっていいことなどは、ちゃんと一緒に楽しんでくれて、やってはいけないことなどは、ちゃんと「いけない」と言ってくれる人。助け合える人。

友達とは、ケンカなどしたときでも、すぐに仲直りできたり、自分が持っていない思いや行動力を持っていたりするから、自分がいけないことをしたときに止めることができる。色々な所で友達の大切さを知ることが改めてできた。

『友達』は、自分のことを自分のように考えてくれる、大切にしてくれるのが『友達』だと私は思いました。私も、そんな『友達』になれるよう、頑張りたいと思います。

私にとって友達とは、困っている時に支え合える、大切な人のことだと思う。また、互いのことを考え、相手のことを思って行動できる人のことだと思う。そして、友達だからこそ、仲が悪くなくても、すぐに仲直りができると思う。

友人を得たきっかけ (各国比較)

(%)

国名	順位	1位	2位	3位	4位	5位
日本	学校で	91.5	職場で(アルバイト先を含む) 36.6	学校以外のクラブ・グループで 16.2	近所で 12.3	同郷ということで 7.6
韓国	学校で	89.0	学校以外のクラブ・グループで 30.0	職場で(アルバイト先を含む) 20.0	近所で 15.2	同郷ということで 11.5
アメリカ	学校で	84.1	職場で(アルバイト先を含む) 47.6	近所で 39.9	同郷ということで 33.1	学校以外のクラブ・グループで 27.4
スウェーデン	学校で	89.6	同郷ということで 37.2	学校以外のクラブ・グループで 36.8	職場で(アルバイト先を含む) 36.0	近所で 35.6
ドイツ	学校で	55.7	学校以外のクラブ・グループで 32.6	近所で 30.7	同郷ということで 28.6	職場で(アルバイト先を含む) 26.5

(第7回世界青年意識調査による)

18歳から24歳を対象としたこのアンケートでは、いずれの国も、友人を得たきっかけの1位は「学校」となっている。

このデータを見て、あなたはどんな感想をもちますか？

『中学生の道徳1 自分を見つめる』
(出版：あかつき) P.83より引用

いつもずっと仲良くてもケンカすることはあって、でも、どれだけ自分に相手が悪いことをしても、まず相手と話し合っ、自分のことだけではなく、相手にしたことや、相手の気持ちを分かることも大切だと思った。

嘘をつかず、素直でいることで、仲直りができるし、友達に対して大切にすることが伝わらなくても伝わっても大切にしてくれる。相手のことを思い合えることが一番の友達。いつの間にか大切にしている。いつの間にか大切にしてもらっている人がいい友達。

友達は、自分のことをよく分かってくれて、自分のためになる行動をしてくれる人。こんな人が周りにいたかどうか、もう一度見直したいと思う。

今日の授業を振り返って、友達とは、大切・大事な存在ということが、よく染み込んできたので、これからも友達を大切・大事にしていきたい。

友達とは、自分のことよりも相手のことを考えて行動できて、正直に話せて、すぐに助け合える関係のことだと思います。